

■トランジスタ技術 2008年7月号 別冊付録 PDF版について

(1)出典

本小冊子は、トランジスタ技術 2008年7月号別冊付録「LTspice スタートアップ・マニュアル 無償で使える高機能回路シミュレータ」として発表したものです。

(2)現在の LTspice と名称が異なりますが操作は同じです。

本小冊子の発表直後、LTspice(LTspice/SwitcherCADIII)は LTspiceIV にバージョンアップされました。そのため、ウィンドウのタイトルの表示が異なっています。また、このバージョンアップから、Windows2000 より古い OS のダイアログボックスの対応がなくなりました。

図のタイトルおよび本文中の「LTspice/SwitcherCADIII」を「LTspiceIV」と読み替えてください。

(3)マルチコアに対応して高速化が図られているがユーザ・インターフェースは同じです。

その他、このバージョンアップではマルチコアのプロセッサに対応してシミュレーション時間の大幅な短縮が図られています。一方ユーザ・インターフェースには目につく変更は見当たりません。そのためか、インストールが完了した LTspiceIV の実行ファイルの名称は以前と同じ scad3.exe となっていました。

■個別の留意事項

●4 ページ 右2行目

(2)scad3.pdf :LTspiceIV ではユーザ・ガイドの pdf ファイルがなくなりました。LTspiceIV をインストールしてメニューの HELP でユーザ・ガイドが利用できます。また Program Files¥LTC¥LTspiceIV のフォルダにある LTspiceHelp.chm が、ユーザ・ガイドのファイルです。エクスプローラなどで表示しファイル名をダブルクリックするとユーザ・ガイドが開きます。

●7 ページ 図 1-10

LTspiceIV は、Program Files¥LTC¥LTspiceIV のフォルダの下にインストールされます。回路シミュレータのプログラムの本体は LTspiceIV も以前のバージョンも同じ scad3.exe の名称です。

●8 ページ 図 1-13

LTspice の再インストールの時、Overwrite を指定してもユーザが作成したサブフォルダは影響を受けません。しかし、リニアテクノロジー提供のフォルダは書き換えられます。そのため、ユーザが独自にトランジスタや FET などのデバイス・モデルをリニアテクノロジー提供のフォルダに格納している場合は消去されるので、Update でインストールします。